

愛知県基幹的広域防災拠点及び豊山町臨空第2公園 事業進捗状況等説明会 【説明要旨】

愛知県基幹的広域防災拠点事業及び豊山町臨空第2公園の事業進捗状況について配布資料に基づき愛知県及び豊山町より説明いたしました。

1 愛知県基幹的広域防災拠点事業の進捗状況について（スライド4～26）

スライド4

- 初めに愛知県基幹的広域防災拠点事業の内の第1期消防学校の概要について説明します。
- 愛知県基幹的広域防災拠点の規模は全体で19.2haであり、第1期として整備を進める「消防学校」は区域の真ん中の赤枠の部分で、面積は6.1haです。
- 整備対象施設である「消防学校」は、拠点運用時に防災拠点の本部機能を担い、平常時には県内消防職員等の育成を担う施設です。
- 本施設の整備につきましては、2025年2月28日に公告を行い事業者の選定手続きを進め、2025年8月18日に行った入札の結果、9月19日にあいち防災パートナーグループを落札に決定し、12月25日に特定事業契約を締結いたしました。

スライド5

- 次に愛知県基幹的広域防災拠点事業の内の、第2期防災公園の概要について説明します。
- 第2期として整備を進める「防災公園」は区域の外側の黄枠の部分で、面積は13.1haですが、整備対象外である神明公園の面積1.5haを除く11.6haが本事業で整備する面積となっております。
- 整備対象施設である「防災公園」は、拠点運用時に支援部隊のベースキャンプ機能や支援物資の集積・中継・分配機能を担い、平常時には公園として、運動施設等の他、イベント開催、防災ビジネス等に活用する施設です。
- 本施設の整備につきましては、2025年7月8日に公告を行い事業者の選定手続きを進め、2025年12月26日に行った入札の結果、本年2月13日にあいち防災パートナーグループを落札に決定いたしました。
- 現在は、7月の特定事業契約に向け、準備を進めているところです。

スライド6

- 今後のスケジュールでございます。
- 第1期の消防学校については、昨年12月に特定事業契約を締結し、現在は、設

計業務を進めております。整備内容につきましては、次のスライドにてご説明させていただきます。こちらは、約3年をかけて設計・建設を行い、2028年度内の完成、2029年4月の開校を目指してまいります。

- また、第2期の防災公園につきましては、今年2月に落札者が決定し、現在は、7月に特定事業契約を締結できるよう、準備を進めております。その後、約3年をかけて設計・建設を行い、2029年度上半期の完成、2029年度内の供用開始を目指して事業を進めてまいります。
- その他にも、敷地造成工事、埋蔵文化財調査につきましては、引き続き実施しております。

スライド7

- 第1期・消防学校の整備内容でございます。
- お示しいたしておりますのは、消防学校の整備イメージとなっております。
- 全県一貫した教育訓練による県内消防力の強化、地域への施設の開放など開かれた消防学校として運営していく方針でございます。
- 次ページ以降で個別の施設毎に説明させていただきます。

スライド8

- 整備イメージ図の一番上でございますのが、教育棟でございます。
- 県民の皆様に対し広く、防災・減災の普及、啓発及び人材育成を行う施設として整備してまいります。
- また、県が実施している防災フェスタや総合防災訓練をはじめ、県民の皆様に参加していただける防災イベントの開催を、この教育棟を使用して実施することを考えております。

スライド9

- 車庫を挟んで左下側にありますのが、救助訓練棟・雨天訓練設備でございます。
- この施設では、ロープ渡過、降下訓練などの救助訓練を実施します。
- 雨天時も晴天時と同様の訓練を実施可能とするため、棟全体を覆う大屋根を設置します。

スライド10

- その左下の街区消火訓練場には、火災・事故を想定した消火や救出訓練を行う

ための施設として、可動式の模擬家屋 9 棟を設置します。これにより実際の火災現場を想定した放水などの消火訓練を実施可能とします。

スライド1 1

- ▶ その左下にありますが、複合訓練施設でございます。
- ▶ マンションなど高層建築物での火災等を想定した消火、救出訓練や、実火災を再現し、高度な消火技術を錬成できる訓練を実施可能な施設とします。また、実際にこの施設の屋内で木材を燃やして訓練を行うため、煙の無害化処理設備を設置してまいります。

スライド1 2

- ▶ その右側にありますが管理・教育棟でございます。
- ▶ 消防士として初めて採用された職員を初任科学生と呼んでおりますが、その講義室として最大 350 人を収容可能な大教室や、消防士として経験を積んだ職員に対しより専門的な講義を行ったり、救急救命などのシミュレーション訓練を行う中・小教室を配置してまいります。

スライド1 3

- ▶ その右上にありますのが屋外訓練場でございます。
- ▶ 250mトラックを設け、各種訓練で使用するとともに、県の消防操法大会でも利用できる広さを確保します。

スライド1 4

- ▶ その右側にありますが震災訓練場でございます。
- ▶ 地震により建築物が倒壊した状況を想定し被災者を救出する訓練を行う施設となります。

スライド1 5

- ▶ その下側にありますが土砂災害訓練場でございます。
- ▶ 土砂災害に対応するための実技訓練、生き埋めになった方を救出する訓練等を行う施設となります。

スライド1 6

- ▶ 土砂災害訓練場の左下側にありますのが水難救助訓練場でございます。
- ▶ 河川や海岸等を想定した水難救助訓練を実施することができる様々な水深を設けた訓練用のプール施設となります。

スライド17

- ▶ その下側にありますのが、宿泊棟でございます。
- ▶ 350人以上を受け入れることが可能な消防学校の全寮制の宿泊施設となります。
- ▶ 寮室のほか、談話室、トレーニングルーム、図書室、食堂等を設置し、消防特有の高い規律と厳格さを育むための施設となります。
- ▶ 以上が、消防学校の整備イメージでございます。

スライド18

- ▶ 続いて、消防学校の拠点運用時の中核施設としての活用についてご説明いたします。
- ▶ 管理教育棟にはオペレーションルームを設置し、本拠点の指揮運用、救助部隊の調整等を行うスペースとして活用いたします。
- ▶ また、免震構造とし、県災害対策本部の代替施設としての活用も想定しています。
- ▶ 教育棟は、傷病者を被災地から他の地域の病院へ搬送する活動の拠点となる「広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）」として活用します。

スライド19

- ▶ 屋外訓練場は消防応援部隊のベースキャンプとして活用いたします。
- ▶ 宿泊棟は拠点で活動する要員の宿泊室として活用します。
- ▶ また、消防学校施設は、大規模災害時にライフラインが途絶した場合でも、活動要員のための電気・水・通信等を確保でき、防災活動拠点の中核施設としての機能を維持できるよう整備します。
- ▶ 以上が、拠点運用時の中核施設としての活用でございます。

スライド20

- ▶ 第2期・防災公園の整備内容でございます。
- ▶ こちらは、昨年7月の入札公告の際に、愛知県が事業者の参加を呼びかけるために公表した要求水準書の内容に沿ったものでございます。

- 基幹的広域防災拠点機能を有する公園として、屋内運動施設や公園管理事務所の他、多目的広場、人工芝広場など県民が気軽に利用できる公園として整備します。
- なお、この公園は大規模災害時において、公園の西側は、全国からの支援物資等の集積・分配・備蓄が可能な機能を確保する「支援物資エリア」、東側は自衛隊等のベースキャンプとして活用される「支援部隊エリア」として活用されます。
- 第2期防災公園整備事業に関しましては、「あいち防災パートナー」グループを落札者として決定しておりますが、7月の特定事業契約に向けて準備を進めているところでありますので、整備内容の詳細につきましては、契約後の7月以降に改めてご説明させていただきます。

スライド21

- 事業用地の管理についてです。
- 取得した事業用地については、年3回の草刈りを実施しており、今年度は5月、9月、11月頃に、事業用地内の草刈りを実施いたしました。
- また事業用地周辺の清掃活動は工事業者においても各々実施しておりますが、それに加えて県の職員が月に2回程度、事業用地周辺を巡回し、捨てられているゴミなどを回収しております。
- 来年度も今年度と同様に、適切に事業用地の管理に努めてまいります。

スライド22

- 基幹的広域防災拠点において、これまでに実施してきた工事の進捗状況です。
- 防災拠点に降った雨水については、極力敷地外に流れ出ないように、すり鉢状に造成を行うとともに、雨水を幹線水路で集め調整池に貯留する計画です。
- 昨年度からの工事により、防災公園の西側エリアに位置する調整池の本体工事が完了いたしました。
- これにより防災拠点に降った雨水は、現在工事中の幹線水路を通じて、調整池に貯めることができるようになりました。

スライド23

- 調整池の工事の様子です。
- 調整池は鉄筋コンクリートにより作られており、工場で作られたコンクリートブロックをクレーンでつり上げて並べ、連結をすることで一体の調整池として築造しております。

- ▶ 昨年の10月頃にはコンクリートブロックが並べ終わり、現在までに埋め戻しが完了したことから、現在は地下の池となり、その全容を見ることはできません。

スライド24

- ▶ 先ほどの調整池へ雨水を導くために整備をしている幹線水路や、敷地造成の進捗状況です。
- ▶ 左側の写真が幹線水路の整備の様子で、1メートルから2メートル程度のコンクリート水路を並べて連結し、整備しております。
- ▶ 幹線水路も調整池と同様、地下に埋められる構造物であり、現在は地表からは見ることが出来ませんが、一部を除いて整備が完了しています。
- ▶ 右側の写真は防災公園西側エリアの敷地造成の状況です。
- ▶ 現時点で造成が完了している部分は、雨水が敷地外に流れ出ないように、敷地の中央部分、水色の矢印の方向に向かって低くなるように勾配をつけています。

スライド25

- ▶ 次に神明公園の一部閉鎖について（予定）ご説明します。
- ▶ 神明公園におきましては、2022年度より工事を進め、現在は図の青色箇所です。既に閉鎖しており、ご迷惑をお掛けしているところですが、図の赤色箇所において、工事のために今年の秋ごろから閉鎖させていただく予定です。
- ▶ 赤色箇所の閉鎖により、新たに北側の門型駐車場、バーベキュー場、じゃぶじゃぶ池が使用できなくなります。
- ▶ また航空館boon、遊具広場、南北の築山、バラ園につきましては、引き続きご利用いただくことができます。
- ▶ 水色の点線は公園内の通路で、堤防上の歩行者道路がある南側から公園にアクセスできるよう動線を確認してまいります。
- ▶ 町民の皆様にはご迷惑をお掛けすることとなり大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。
- ▶ 詳しい閉鎖時期等につきましては、明らかになりましたら、改めて周知させていただきます。

スライド26

- ▶ 最後に、工事現場における安全対策等について説明します。
- ▶ 左上の写真ですが、現在実施している工事の内容を、青山地区の公園に設置させていただいた広報掲示板でお知らせしております。

- ▶ 次に左下の写真ですが、工事車両には工事ステッカーを貼り、どの工事の車両かを分かるようにした上で、住宅地へ工事車両が進入して周辺環境を悪化させることのないよう指導・監督しております。
- ▶ 次に右上の写真ですが、防災拠点事業による道路の通行止めにより、交通が集中している変電所前の町道1号線について、歩道が設置されるまでの安全対策として、仮設照明の設置や、外側線の塗りなおしを行っております。
- ▶ 最後に右下の写真ですが、豊山町をはじめ、河川や道路、埋蔵文化財等の担当者や関連事業者を集めた定例会を毎月開催し、地域の課題を共有し、悪影響が少なくなるよう適切な対策に努めております。
- ▶ 工事に際しては、道路の交通規制などで地域の皆様にご迷惑をお掛けしておりますが、出来る限り地域の安全、安心に取り組んでまいりますので、なにとぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 豊山町臨空第2公園事業の進捗状況について (スライド28～40)

スライド28

- ▶ 臨空第2公園に係る工事の進捗状況について説明いたします。
- ▶ こちらの図は臨空第2公園の造成工事の概要図です。
- ▶ 茶色の薄い部分は高い、濃い部分は低い地形を、また、紺色の矢印は、降った雨水の流れを示しています。
- ▶ 中心に向かって低くしすり鉢状に整備し区域の外に雨水が流れ出ないようにしてまいりたいと考えています。
- ▶ 集まった雨水については、地下式調整池を整備しこちらに集めてまいります。
- ▶ 雨水については、愛知県が整備を行う幹線水路に向けて地下式水路を整備し水色の水路で中江川に流す計画です。
- ▶ 縁辺部については、茶色の部分が擁壁（コンクリートの壁）、緑色の部分が法面としての整備を考えています。道路より高いところでおおよそ1m程度高くなる予定です。
- ▶ さらに災害時の飲料水の確保のため、40,000リットルの水を貯水できる飲料水兼用の耐震性貯水槽の整備を予定しています。

スライド29

- ▶ 地下調整池の整備について説明します。
- ▶ 臨空第2公園内に整備する地下調整池は、ミニゲート工法での整備を行います。
- ▶ 左上の写真の門型のプレキャストコンクリートブロックと右上の頂版スラブ等を組み合わせて整備を行います。
- ▶ このブロック自体は1mほどの高さであり、内部には80センチほど水をためる

ことができるものです。

- 全体として2, 400 m³の水をためることができる調整池となります。

スライド30

- 地下調整池の工事状況でございます。
- 昨年末に埋蔵文化財本発掘調査を終え、現在は掘削作業が終わり、基礎コンクリートを打設しているところです。
- 4月よりブロックの据え付けを行ってまいります。令和8年度中に地下調整池の全体の完成を予定しています。

スライド31

- 周辺道路等の整備について説明します。
- 愛知県基幹的広域防災拠点や臨空第2公園の整備に関連して実施する道路や水路の整備について説明いたします。
- 本日説明するのはこちらの図にあります4点となります。
- まず赤色でお示ししている部分については県道として拡幅される道路の影響により交通量が増加することが想定されるためのう回路の整備。
- 2点目が青色で示しております、避難路となる部分の開水路の蓋掛けによる避難路整備。
- 3点目が緑色で示しております、用水路の廃止に伴う新たな用水路の整備。
- 4点目が黄色で示しております、道路拡幅と電線共同溝の整備でございます。

スライド32

- う回路整備と避難路整備計画の概要です。
- 県道の北側、赤色で着色されております町道111号線・113号線・115号線については、基幹的広域防災拠点等の整備に合わせて、より安全に県道への合流するための経路として、赤色の網掛でお示したルートの再整備を行っております。
- 県道の南側、青色で着色されております町道111号線・115号線については開水路となっている部分の蓋掛けによる歩道整備を行っております。
- これらにより新たな公園周辺の道路利用者の交通安全対策が向上するものと考えております。

スライド33

- こちらがう回路整備の詳細図です。
- 町道113号線と111号線の交差する部分の図です。左側が現況で右側が整備後の図です。
- 茶色の部分が現在法面として未舗装の部分となっています。法面や未舗装となっ

ている部分に側溝を整備し舗装を行い道路の拡幅を行っています。

スライド34

- こちらが詳細図でお示した場所の道路を横から見た横断図です。上の図が現況で、下の図が整備後の図です。
- 西側から東側を見た状態で左側が北側となっています。
- 法面や未舗装となっている部分に側溝を整備し舗装を行い道路の拡幅を行います。
- 左下の写真ですが、現在は給食センター北側周辺の町道111号線において用水路の整備に合わせて、側溝の整備を行っています。

スライド35

- こちらが避難路整備の詳細図です。千松寺の西側の部分です。
- 左側が現況で右側が整備後の図です。
- 写真のとおり現在開水路となっている水路部に蓋掛けを行い右図の赤色の部分を歩道部として整備しました。

スライド36

- こちらが詳細図でお示した場所の道路を横から見た横断図です。上の図が現況で、下の図が整備後の図です。
- 南側から北側を見た状態で左側が西側となっています。
- このように水路に蓋掛けを行い、歩道を整備しています。
- 本年度111号線の工事を行いました。来年度は一本西側の115号線の整備を予定しています。

スライド37

- 愛知県の基幹的広域防災拠点の整備に伴いまして、今まで使用されていた整備エリア内の用水路が廃止となります。この用水路は、下流域の水田に灌漑するための用水でもありますので、下流域へ従来通り通水する必要があるため、付け替え整備を行っています。
- こちらの図面のようにパイプラインと新設開水路を整備し付け替えを行います。
- 神明公園南側にあります神明ポンプから緑線の部分の地下にパイプラインを設置します。給食センター北側とオオブユニティさんの北側の位置で既存の開水路に接続します。
- 赤色の線の部分については、開水路を新設し用水を送れるように整備します。
- 令和8年度の出水期については、これまでの水路とこのパイプラインとの併用での使用を考えております。

スライド38

- 道路拡幅及び電線共同溝の整備について説明いたします。

- 消防学校の南側の町道 1 1 7 号線については、愛知県基幹的広域防災拠点の整備に合わせて拡幅を行います。
- またそれに合わせて電線を地中化するため電線共同溝を整備いたします。
- 下の図面のとおり現状は黒色の線でお示した 6 m 幅の道路ですが、両側に歩道を設けた 1 2 m の道路になるよう拡幅を行います。
- これらの工事は令和 8 年度内に実施を予定しております。

スライド 3 9

- 臨空第 2 公園内には飲料水兼用の耐震性貯水槽の設置を予定しています。
- これは、災害時に断水となる場合を想定し、耐震性の貯水槽を地下に整備することにより避難者や周辺住民のための飲料水を 3 日分確保いたします。
- 貯水容量は 4 0 m³ (4 0, 0 0 0 リットル) を貯水できる施設となります。
- 1 人 1 日 3 リットルを 3 日分とするとおよそ 4, 4 0 0 人分の水を確保します。

スライド 4 0

- こちらが豊山町の事業に係る整備スケジュールです。
- 埋蔵文化財については、2 0 2 5 年度に臨空第 2 公園内の地下調整池エリア及び町道 1 1 7 号線 1 1 1 号線の本発掘調査を行いました。
- 造成工事については昨年度より造成を始め、2 0 2 6 年度末をめどに造成工事の完了を目指しております。
- 地下調整池につきましては、本年度より事業を開始し 2 0 2 6 年度末の完了を目指しております。
- 耐震性貯水槽については 2 0 2 7 年度の実施を目指しております。
- 周辺道路等の工事については今年度から工事を進めており、2 0 2 7 年度末の完了を目指しております。
- 臨空第 2 公園については、愛知県の防災公園の整備に合わせて整備を進めてまいります。

※説明内容につきましては以上のとおりです。